

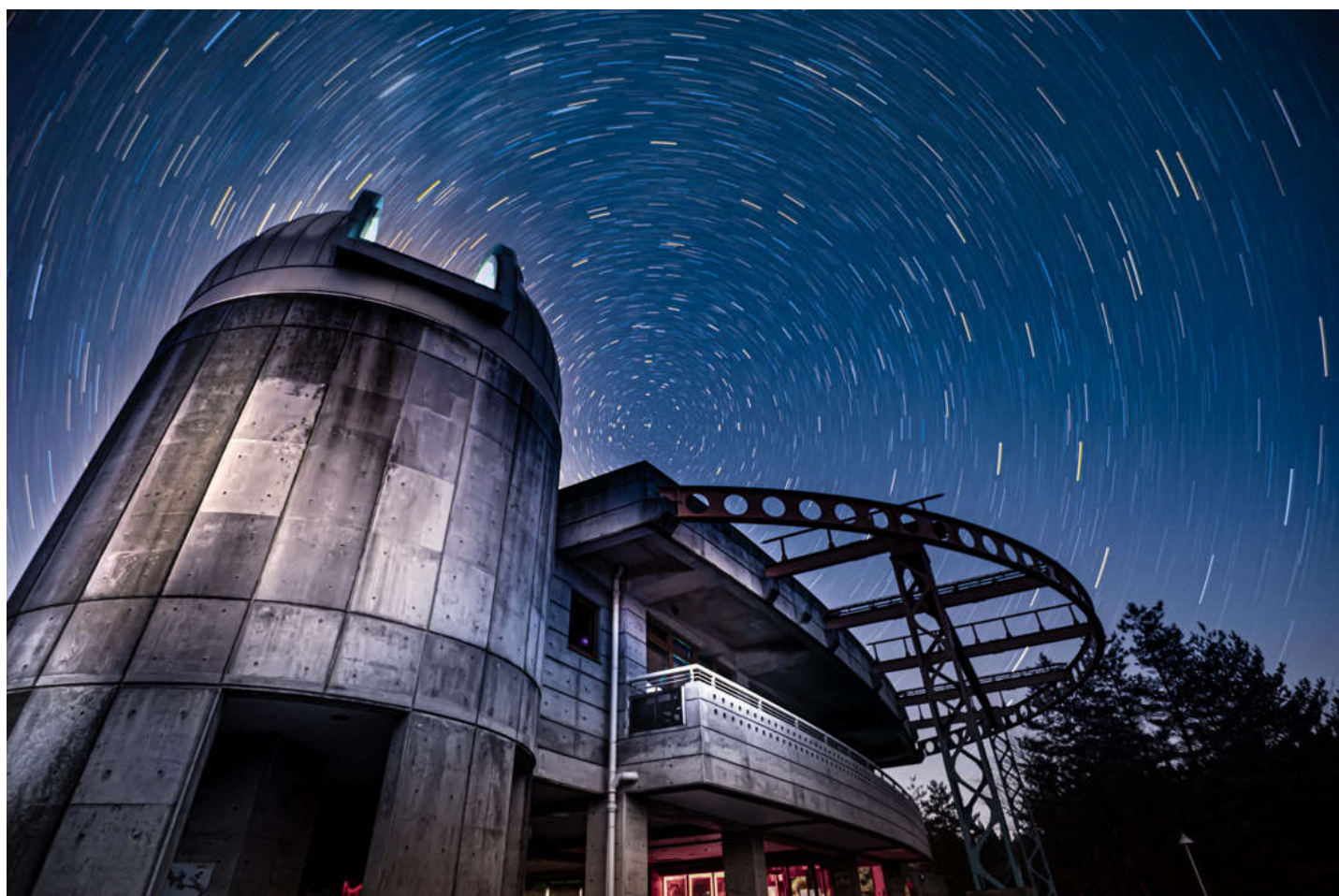
中条郷会誌

第11号

2023年3月31日発行

～ 悠久・胎内 明日への架け橋 ～

中条郷会事務局



胎内写真コンテスト入賞作品
[君と星を繋ぐ天文館]

目次

- ・末永い故郷を願って.....胎内市長 井畑 明彦
- ・高いポテンシャルを秘める胎内リゾート.....(株)胎内リゾート 常務取締役 橋 信孝
- ・各々の地元に思いを馳せて.....株式会社ベジ・アビオ 代表取締役 山崎 瑤樹
- ・中条郷会役員会の動向.....
- ・編集後記.....中条郷会幹事 石井 隆

末永い故郷を願って

胎内市長 井畑明彦

日本が令和の時代を迎えてほどなく、世界はコロナ禍に覆われ、昨年2月にはロシアのウクライナ侵攻が勃発しました。また、豪雨災害や土砂災害などの自然災害も激甚化し、胎内市も豪雨災害に見舞われました。

何かと、暗く、悲しい世相になっていると感じる人は、少なくないのではないのでしょうか。様々な事柄が好転していくことを切に願います。

さて、中条郷会に関しましては、私は市長に就任させていただいてから多くの会員の方と接する機会に恵まれ、いろいろとお話もお聞きしてきましたが、やはり印象深いことは、折に触れ、「胎内市に戻ると、ほっとした気持ちになれる」、「遠く離れていてもふと故郷を思い出し、懐かしい気持ちに浸ることがしばしばある」、というような会員の皆様が共有されている思いです。

その思いに触れるたび、胎内市がまさに持続可能で末永く続いていくようにとの想念のようなものが湧いてきます。ありのままの自然を守りながら、古からの伝統文化を大切に継承し、しかし、その一方では、時代背景をしっかりと把握して、新しい地域の価値を育み、郷土の魅力を高めていくことが求められていると感じています。

私は、これまでも随所で、洋上風力発電事業について鋭意推進を図ってきていることをお伝えしてきましたが、いよいよ、昨年末から事業者の公募が始まりました。

この事業の推進は、当市における産業振興や雇用の確保など、地域の活力を生み、地球温暖化抑止という環境課題の解決に向けて先進的な取組を進める理念に基づいており、今ここで暮らしている市民や故郷が胎内市にある人、更には、これから先の時代に胎内市で生まれ育っていく人にとっての誇りを醸成し、末永く続く地域への大きな歩みになるものと信じております。中条郷会の皆様にとっても明るい希望になると思っただけであれば幸甚です。

今回は、そのような思いを持ちつつ、中条郷会誌に寄稿させていただいた次第ですが、会員の皆様におかれては、これからもご健勝、ご多幸であられますよう、心より祈念いたします。

また、お会いするたび、会長の小野武司さんの優しいお人柄に触れ有難く思っておりますが、今回の寄稿依頼文は、自筆で書いてくださったもので、なお一層の親しみとお心遣いを感じさせていただきました。会員相互の親睦と胎内市との連携にご尽力をいただいていることに改めて感謝申し上げますとともに、この会誌を読まれている皆様にもそのことをお伝えし、結びとさせていただきます。

今後ともよろしく願いいたします。

高いポテンシャルを秘める胎内リゾート

(株)胎内リゾート 常務取締役 橘 信孝

胎内リゾートは四季折々の豊かな自然に囲まれ、一年を通じて様々なアクティビティやスポーツを楽しむことができます。また天文館や昆虫館、地ビールなどの観光施設も充実しており、マーケティング次第ではまだまだ交流人口を拡大できる可能性があります。新潟県内はもとより、「全国区」を目指すこともできると考えています。

胎内市および胎内リゾートは、新潟県内においてはそれなりの知名度はありますが、一步県外に出ると残念ながらまだまだその認知度は低いと言わざるを得ません。まずは一人でも多くの人に知っていただくこと、認知していただくことが肝要です。(認知されなければ、興味の持ちようがありませんので)

理想は、市民の皆さんを含め官民が一体となり、胎内市の魅力を発信し続けることです。

胎内市および胎内リゾートの魅力を様々な方法で積極的に発信し続けることで、自ずと認知度は高まり、交流人口の拡大につながるはずです。時には官民が一体となり、県外に出向いてのPR活動を行うことも効果的ではないでしょうか。

大切なのは胎内市や胎内リゾートを訪れた方々に「いかに満足していただけるか」ということです。本当に満足していただければ、周りの方々にも我々に代わって宣伝してくれるでしょう。もちろん満足された方は、リピーターになる可能性があります。

胎内リゾートの中核を担うロイヤル胎内パークホテルは、私がかつて勤務していたオークラの共通コンセプトでもあります「最高の A.C.S.」を目指し続けながら、マーケティングをさらに強化しつつ、地域の交流人口拡大に貢献することを目標としています。

最高の A.C.S.とは、最高の設備 (Accommodation)、最高の料理 (Cuisine)、最高のサービス (Service) のことです。

不運に見舞われたことをチャンスと捉えられるか？

3年ほど前から新型コロナウイルス禍に、また昨年春以降は急激な円安進行やウクライナ紛争に伴う光熱費や諸物価の高騰に見舞われ大きなダメージを被っていますが、これらを不運と捉えて消極的な策しか講じないのか、あるいは同じ状況(条件)を生き残るチャンスと捉え積極策に出るのか、とではその結果は恐らく大きく違ってくるのではないのでしょうか。胎内リゾートは、後者の積極策で何とか活路を見出していきたいと考えています。

最後に、社内横断的に委員会メンバーを募り、全従業員でアイデアを出し合いながら構築しました(株)胎内リゾートの企業理念をご紹介します。

四季折々の豊かな自然に囲まれた胎内リゾート

私たちはこの恵まれた環境を最大限に活かしながら

常に向上心を持ち、心安らぐ空間、心温まる料理とおもてなしで

お客様に感動と上質なサービスを提供します

各々の地元に思いを馳せて

株式会社ベジ・アビオ
代表取締役 山崎 瑤樹

先日、中条郷会会長小野武司様とお会いし、中条郷会誌への投稿のご依頼をいただきました。僭越ながら会社の紹介と併せて私の略歴と、胎内市出身である私の地元へかける思いを書かせていただきます。

私が代表を務めるベジ・アビオという会社は北区にある農業法人です。スマート農業を活用し、高糖度のトマトを冬も通して生産しております。当社はNSGグループの法人で、2016年に設立したばかりのベンチャー農業法人です。私は2018年より新卒でNSGホールディングスに入社し、2020年より出向で当社に勤めておりましたが、2022年に代表交代し、代表取締役を務めています。当グループ内には110の法人があり1万2千人を超える従業員が働いておりますが、その中でも胎内市出身の者や事業などで胎内市に関わる者が、当グループを通して胎内市を活性化させようと集まりました。若輩ながら私もチームの一員に加わらせていただき、その際に、胎内市出身・中条郷会会員であり、現在当グループの常務取締役兼財務本部長を務める松村俊史と関わり、そのお繋がりから小野様にご紹介いただいた次第です。松村は現在、経験少なく代表を務めることとなった私の、財務面をはじめとした様々な相談をする上司のような役として、普段から厚く目をかけてくれる存在です。

私は胎内市の旧黒川村出身で、幼い頃に中条地区に引っ越し、中条小学校、中条中学校と卒業をしております。高校は新潟中央高校に進学し、毎朝中条駅から通っていました。その後、新潟大学に進学後は新潟市を中心に住まいを移しましたが、よく中条の実家に帰り、友人や家族との団欒を楽しんでおります。

私が今代表を務めているきっかけでもありますが、10代の頃から「将来は社長になりたい」という夢がありました。昔からリーダー職が好きで、中学校では生徒会長や部長も務めていたのもありますが、一番の理由は、父や祖父が会社を経営していたということです。胎内市に構える山崎鉄工株式会社という鉄工業の会社ですが、経営をする父や祖父の姿を見て、自ずと将来を思い浮かべた時のリーダー像が「会社の社長」になっていました。物心ついた頃から、「将来はカッコいい社長になる！」と息巻いて活動し、どうやったらカッコいい社長になれるかが行動の軸になっていました。そのため、大学進学時も経営が学べる学科にし、ゼミも起業家育成や経営戦略を学べるところを選択しました。大学時代にはビジネスプランコンテストに出場したり、プランを実現するために県内を駆け回って情報を集めたりしていました。

大学時代に様々な社会人と出会う中で、突出して地元を誇りを持っている人が多い町がありました。燕三条地区です。燕三条では金物を中心とした産業が盛んで、その技術や文化を、誇りをもって繋ぎ、全国や世界に発信するために、大人がわくわくして日々の活動に勤しんでいる。その様子を見て子供も地元を誇りを持っていく。町のために何かしたいと関東から帰ってきて活動する人もいる。若者も、なんだか楽しそうな町だ！と思い、プロジェクトが集まったり、住居を移したりする。現に、三条市は2022年に人気移住地域ランキング一位を獲得するなど数字にも現れています。

私は正直…羨ましかったです。燕三条出身の子のように地元を誇れるか…その当時は素直に頷けませんでした。嫌いじゃない。でも、そこまで思い入れもない。そんな感想が私や、私の周りの率直な思いでした。

しかしその後、社会人になって、さらに代表になってから、仕事でも胎内市と関わるようになり、改めて胎内市を見るようになってから、かなり印象が変わりました。うまく言い表せないのですが、活気があるのです。普段の仕事も、町の課題も、祭り行事も、私がかつて思っていたより何倍も、みんなが当事者意識で動いている印象を受けました。おそらく私が気づかなかっただけで、元からあったのだと思います。キラキラしたものではなく表面的には見えづらいけど、生活していく中での活力があるんだと感じました。私が会社を経営する中で、その大変さに気づき、いろんな部分に目が行くようになったからかと思います。

自分が思う以外にも、「今、胎内アツいよね！」と周りから声をかけられることも増えました。現代は多様性、市町村がそれぞれの強みをもっています。中にいる住民が豊かに生活できれば、その手段は如何様でも誇らしいものだと思います。現在私は北区で日々邁進していますが、いずれ地元胎内に報いることができる将来も描けたら、と思います。

中条郷会役員会の動向

* 2022年4月～2023年1月の期間に3回実施

1回目

◆日時 2022年5月20日(金)

◆討議、確認、決定事項

- (1) 役員体制・役割について
- (2) 収支報告について

中条郷会新年総会の収支について出席役員全員で会計内容を確認した

2回目

◆日時 2022年9月28日(木)

◆討議、確認、決定事項

- (1) 2021年中条郷会新年総会の日程と開催場所について検討を行い、下記内容で仮決定した

① 開催日時

第1候補日 2023年3月22日(水)午後6時30分

第2候補日 2023年3月20日(月)午後6時30分

② 開催場所

新潟グランドホテル・悠久の間(3F)

- (2) 中条郷会会誌(11号)の打ち合わせを実施し原稿寄稿者、掲載内容を検討した

3回目

◆日時 2023年1月23日(月)

◆討議、確認、決定事項

- (1) 新型コロナウイルス感染拡大に伴ない新年総会開催の可否について再討議した

討議の結果、今回はホテル側の協力のもと感染防止対策を講じた上でアルコールなしで実施開催することとした

- (2) 会費にあっては、諸物価上昇を考慮し、従前から1,000円アップの一人8,000円で会員の皆様をお願いすることとした

編集後記

4年ぶりに開催することができた新年総会、正直ほっとしているところですが、新型コロナウイルス感染防止の観点から、アルコール飲酒なしで密を回避しての開催となりました。

本来であれば、アルコールを飲み会員同士もっと楽しく歓談できたはずと思うと、少し残念な気持ちが残ります。

次回は是非、アルコールを飲み、もっと自由に楽しく歓談できる総会が開催できることを願っています。

さて、会員の皆様、会員相互の情報共有をテーマにした中条郷会誌も今回で第11号になります。

今回、ご多忙中にもかかわらず原稿を寄稿して頂きました方々には本当に感謝を致します。

この場を借りて感謝とお礼を申し上げます。

また、中条郷会は「会員同士の親睦を通じ、故郷の発展を願う」ことをその意義としています。

今後も中条郷会発展のため、一層会誌の内容充実を図ってまいる所存でありますので、どうか会員の皆様にあっても是非情報提供のご協力をお願いいたします。

会員皆様の益々のご健勝とご繁栄をお祈り申し上げます。

《情報提供先・寄稿先は中条郷会事務局(胎内市商工観光課)》

・住所 〒 969-3693 新潟県胎内市新和町2番10号

・TEL 0254-43-6111 ・FAX 0254-43-7392

中条郷会幹事 石井 隆